

# 平成30年(2018年)喝水のまとめ

---

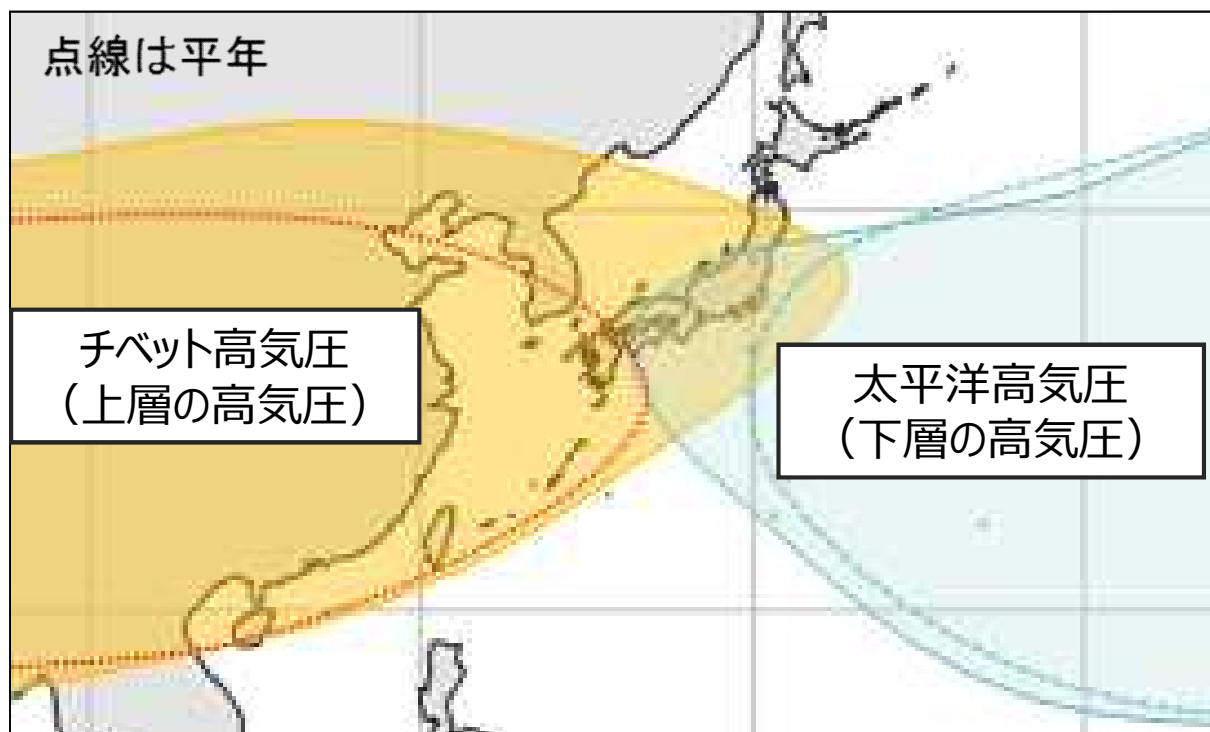
国土交通省 水管理・国土保全局

# 1. 平成30年渇水の概要

## (1) 気象状況

- 関東甲信地方は、6月末頃に太平洋高気圧の強まりにより、日本海まで梅雨前線が北上し、1951年の統計開始以降最も早い梅雨明けとなった。梅雨前線は7月上旬に一時的に南下し、西日本中心に「平成30年7月豪雨」が発生したが、関東甲信地方への影響は限定的だった。
- 7月中旬以降は、東・西日本では、上層のチベット高気圧、下層の太平洋高気圧におおわれる日が多く、8月にかけて降水量が少なく、厳しい暑さとなった。(気象庁)

平成30年夏(6~8月)の日本付近の気圧配置の模式図



○上記の影響が顕著に生じた関東地方の利根川上流域においては、6月の総降雨量が平年の約65%程度(総降雨量114mm)と少なかった。

# 1. 平成30年渇水の概要

## (2) 全国の渇水状況

【平成30年に取水制限※1を行った国管理河川】

平成30年に国管理河川で取水制限を行ったのは5水系6河川  
※ 最大30%以上の取水制限を行ったのは2水系2河川

No	地整名	水系名	河川名	取水制限期間※2		
1	関東	利根川	渡良瀬川	6/29	～	8/21
2			鬼怒川	7/10	～	8/21
3	中部	天竜川	天竜川	12/25	～	継続中
4	四国	吉野川	吉野川	8/12	～	8/21
5	九州	嘉瀬川	嘉瀬川	3/16	～	5/8
6		山国川	山国川	8/30	～	9/10

※1 本資料でいう取水制限とは、河川管理者が渇水に関する体制を執っている河川のうち、下記いずれかを満たす河川を指すものである。

①取水施設からの取水量が制限されている河川

②水源施設からの補給が減量されている河川

※2 一時解除期間を含む

⑥山国川 8月30日～9月10日

最大水道用水20%、農業用水30～40%、  
工業用水75%の取水制限

⑤嘉瀬川 3月16日～5月8日

最大水道用水5%、農業用水5～30%、  
工業用水5%の取水制限

④吉野川 8月12日～8月21日

最大20%の取水制限  
(水道用水、農業用水、工業用水)

①渡良瀬川 6月29日～8月21日

最大20%の取水制限  
(水道用水、農業用水)

②鬼怒川 7月10日～8月21日

最大10%の取水制限  
(水道用水、農業用水、工業用水)

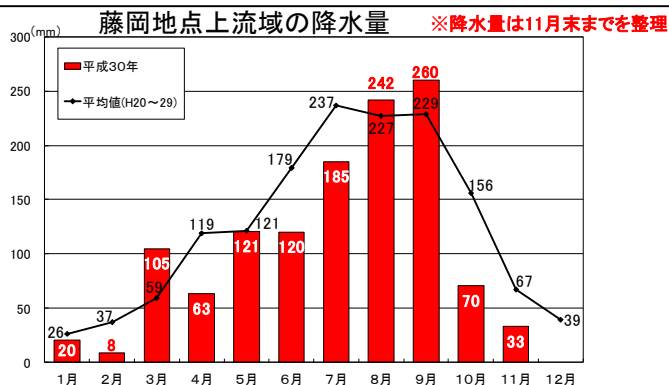
③天竜川 12月25日～継続中

最大水道用水10%、農業用水20%、  
工業用水20%の取水制限

# 平成30年 渡良瀬川 渇水

## 河川の概要および降水量

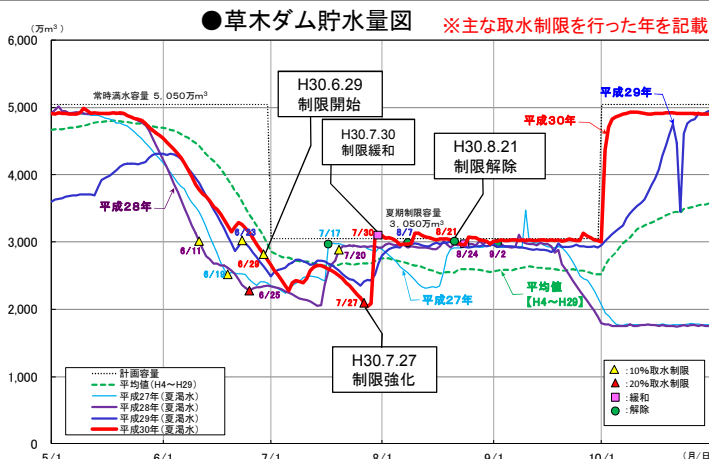
- 渡良瀬川流域は栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県4県の14市8町からなり、流域内人口は約124万人。
- 渡良瀬川流域の降水量は、1月、2月、4月、6月、7月、10月、11月の月降水量が平均値を下回る。
- 特に**かんがい期中の6月は、120mmと平均値(179mm)の67%**。



## 渇水対策の経過

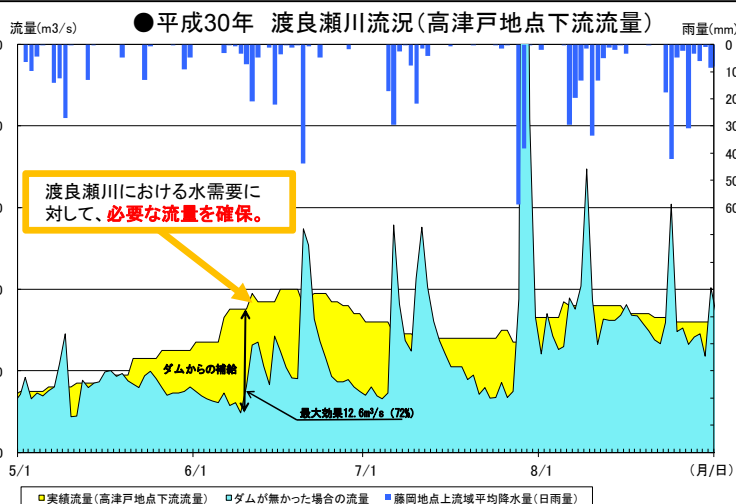
- 5月中旬からの農業用水の需要増等に対応し、ダムから必要な流量を補給したため貯水量が低下。
- ダム補給が継続し貯水量が低下したため、6月29日から54日間(うち一時的解除の期間 22日間)、取水制限を実施。

- 6/20 利水者懇談会・水利使用調整連絡協議会 (取水制限10%の実施決定)
- 6/29 取水制限10%開始
- 7/27 取水制限20%に強化
- 7/30 取水制限を一時緩和
- 8/21 取水制限全面解除



## 水源施設の効果

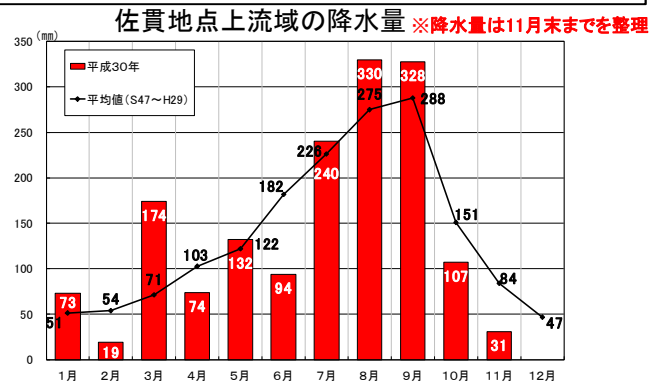
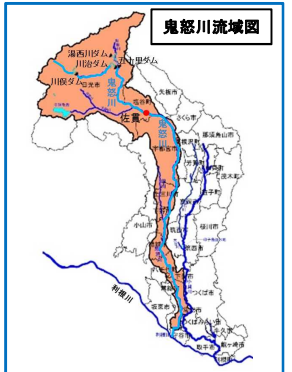
- 草木ダムより5月から8月までの4ヶ月間で総量約3,900万m<sup>3</sup>の補給を実施。
- 渡良瀬川で必要な流量(高津戸地点下流流量)の内、**最大で約72%を草木ダムから補給**。



# 平成30年 鬼怒川 渇水

## 河川の概要および降水量

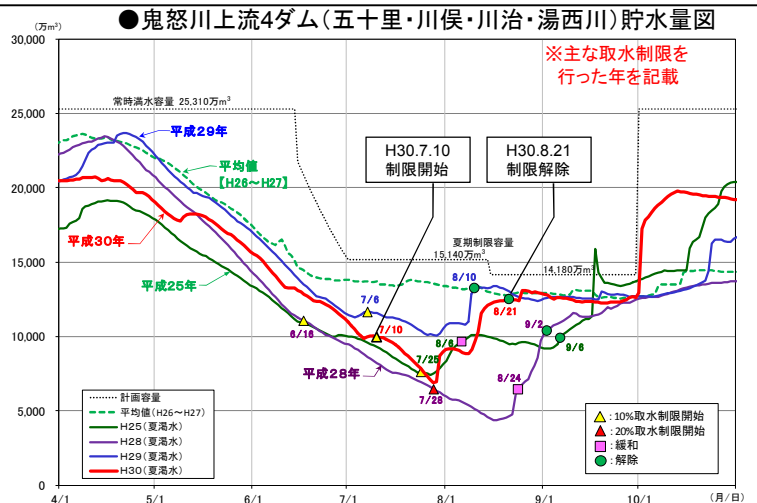
- 鬼怒川流域は栃木県、茨城県2県の12市4町からなり、流域内人口は約55万人。
- 鬼怒川上流域の降水量は、2月、4月、6月、10月、11月の月降水量が平均値を下回る。
- 特に**かんがい期中の6月は、94mmと平均値(182mm)の52%**。《過去2番目(S47-H30集計)の少雨》



## 渇水対策の経過

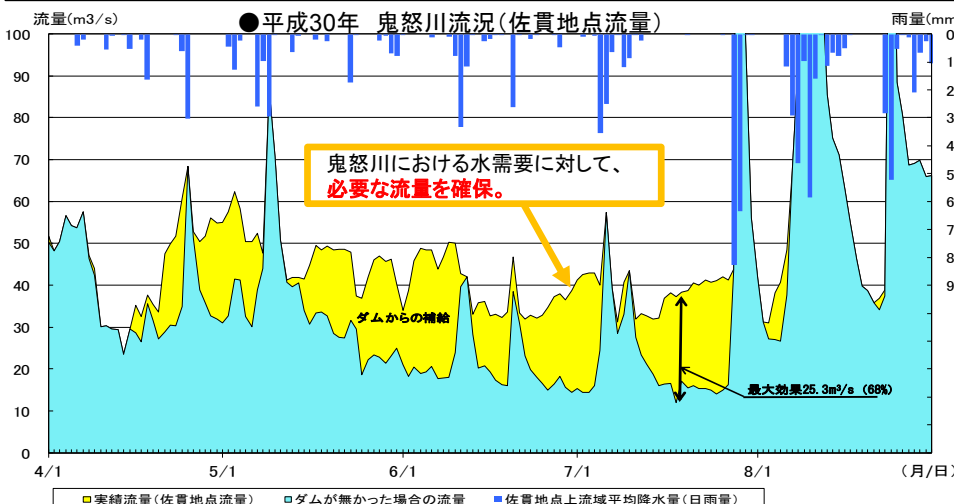
- 4月中旬からの農業用水の需要増等に対応し、ダムから必要な流量を補給したため貯水量が低下。
- ダム補給が継続し貯水量が低下したため、7月10日から43日間、取水制限を実施。

- 7/6 鬼怒川水利調整連絡会・鬼怒川上流利水調整連絡会 (取水制限10%の実施決定)
- 7/10 取水制限10%開始
- 7/30 鬼怒川水利調整連絡会・鬼怒川上流利水調整連絡会 (10%取水制限を引き続き実施する。)
- 8/21 取水制限解除



## 水源施設の効果

- 鬼怒川上流4ダムより4月から8月までの5ヶ月間で総量約1億4,600万m<sup>3</sup>の補給を実施。
- 鬼怒川に必要な流量(佐貫地点流量)の内、**最大で約68%を鬼怒川ダム群から補給。**



●鬼怒川・川俣ダム貯水状況写真





# 平成30年 吉野川 渇水

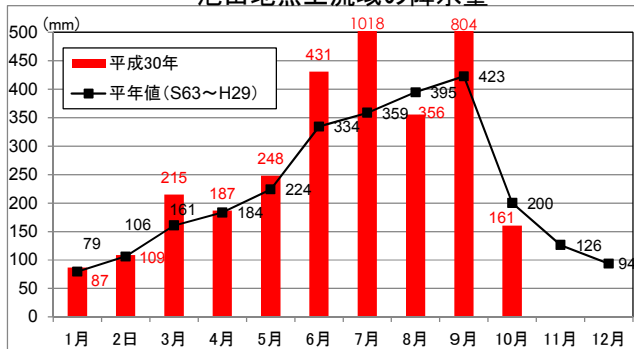
## 河川の概要および降水量

- 吉野川流域は徳島県、高知県、愛媛県、香川県の四国4県、12市14町2村からなり、流域内人口は約61万人。
- 池田上流域における降雨量は、7月は1,018mm(平年比284%)あったが、「平成30年7月豪雨」以降は記録的猛暑や少雨に加え、台風12号においてもまとまった降雨がなく、**8月の降水量が356mmと平年の90%**。

### 位置図



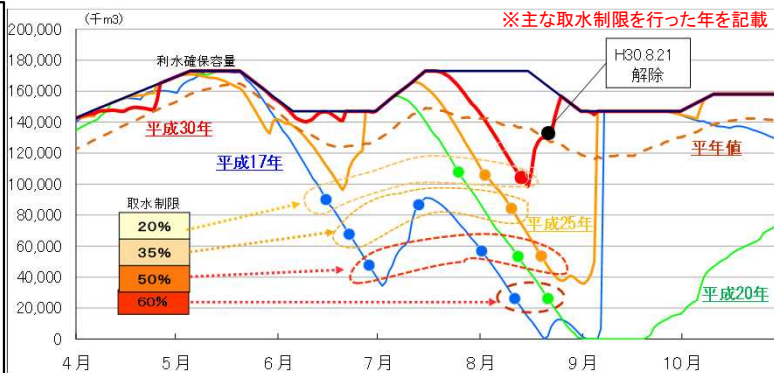
### 池田地点上流域の降水量



## 渇水対策の経過

○7月中旬から8月上旬の降水量が少なかったことにより、8月12日から10日間(うち一時的解除の期間 6日間)取水制限を実施。

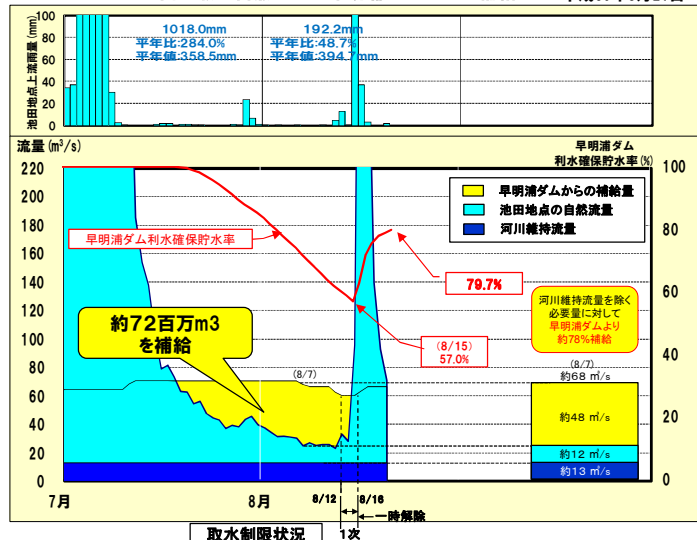
- 8月 8日 水利用連絡協議会幹事会風景 (第一次取水制限の方針検討)
- 8月 9日 水利用連絡協議会 (第一次取水制限の実施を決定)
- 8月 12日 第一次取水制限 (上水20%、工水20%、農水20%、その他100%)
- 8月 16日 取水制限一時的解除
- 8月 21日 取水制限全面解除



## 水源施設の効果

○池田地点の自然流量の最小は25m<sup>3</sup>/s程度で、河川として必要な維持流量(13m<sup>3</sup>/s)を除き、各県へ供給する為に必要な流量の内、**最大で約78%を早明浦ダムから補給**し、「平成30年7月豪雨」以降から取水制限全面解除までの期間では約72百万m<sup>3</sup>の水を補給。(1人に4t給水車約12台分(※))

### 池田地点の自然流量と早明浦ダムからの補給量 平成30年8月21日

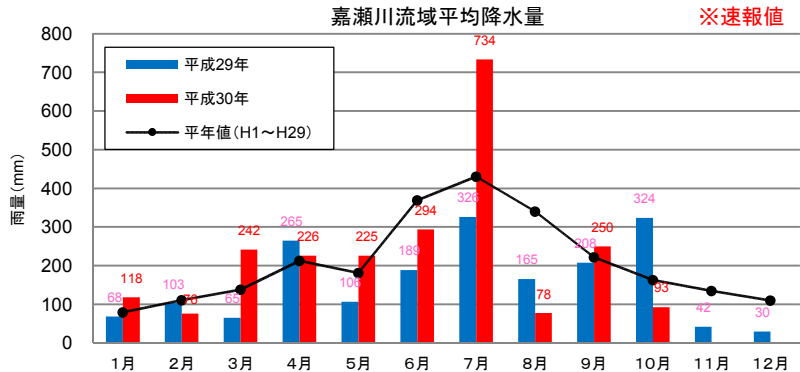


※ 給水車(4t)=約18万台分  
徳島県: 徳島市、鳴門市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、上板町、板野町、つるぎ町、東みよし町: 588,688人(H30.7.1)  
香川県: 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、三木町、宇多津町、綾川町、琴平町、多度津町: 914,333人(H30.7.1)  
とし換算した数値

# 平成30年 嘉瀬川 渇水

## 河川の概要および降水量

- 嘉瀬川流域は佐賀県の3市からなり、流域内人口は約13万人。
- 嘉瀬川流域における降雨量は、昨年11月～今年2月の合計降水量266mmは、**平年値合計439mmの約61%**。

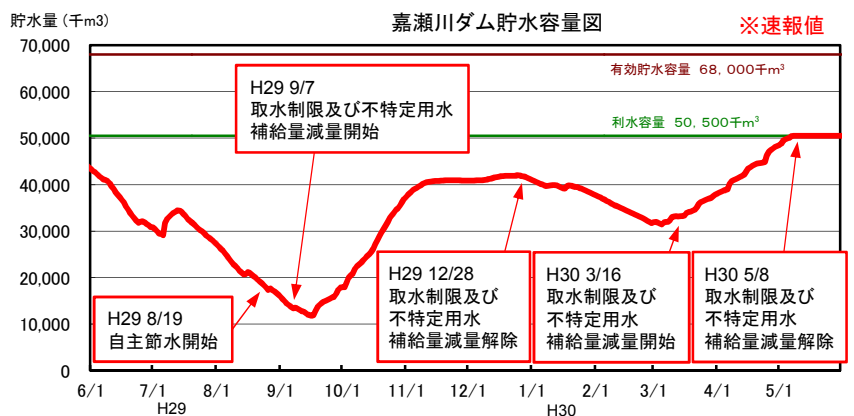


## 渇水対策の経過

○昨年11月から今年2月の降水量が少なく、昨年の渇水の影響もあり、ダムの貯水量が平年に比べ低い状況が続いていたことから、渇水調整協議会にて水利用が多くなるかんがい期に向けて節水の申し合わせ等の対応を協議し、平成30年3月16日から54日間取水制限を実施。

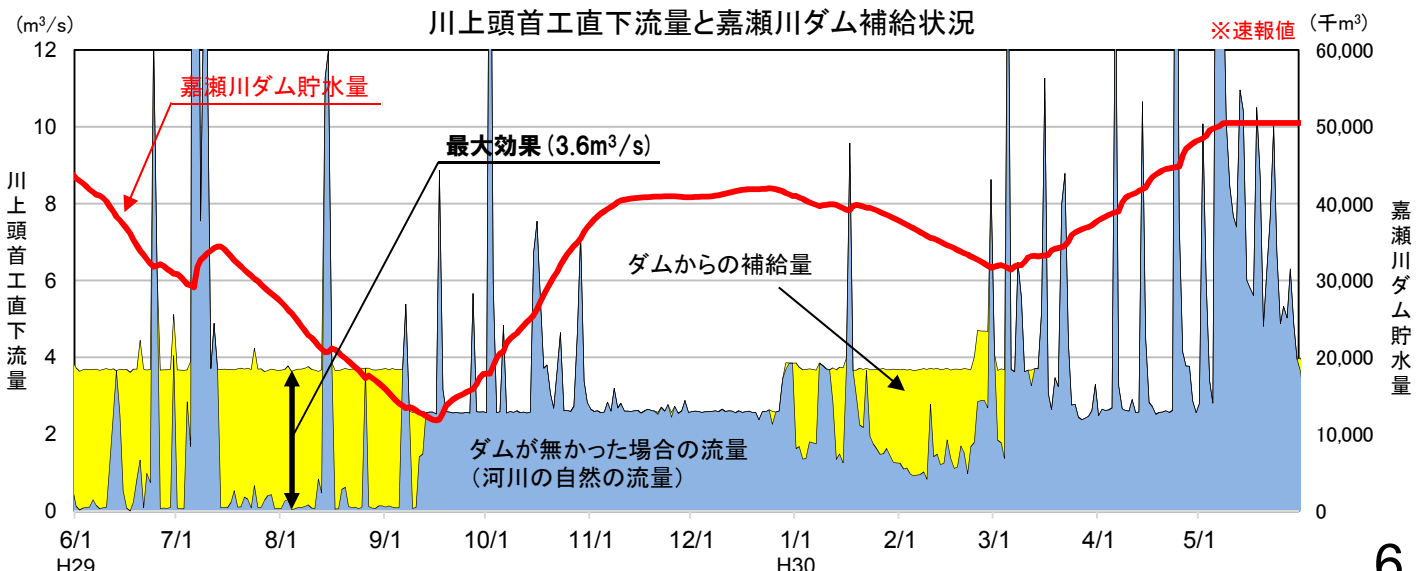
### 【渇水対応経緯 (H29~H30)】

- 8/18 嘉瀬川水系渇水調整協議会
  - ・農水、工水、上水:10~20%の自主節水実施決定
- 8/19 自主節水開始
- 9/5 嘉瀬川水系渇水調整協議会
  - ・農水、工水、上水:10~30%の取水制限実施決定
  - ・不特定用水補給量:30%の減量実施決定
- 9/7 取水制限及び不特定用水補給量減量開始
- 11/9 嘉瀬川水系渇水調整協議会
  - ・取水制限を継続し、嘉瀬川ダム貯水率概ね85%で解除することを決定
- 12/28 取水制限及び不特定用水補給量減量解除
- 3/15 嘉瀬川水系渇水調整協議会
  - ・上水、工水、農水:5~30%の取水制限実施決定
  - ・不特定用水補給量:30%の減量実施決定
- 3/16 取水制限及び不特定用水補給量減量開始
- 5/7 嘉瀬川水系渇水調整協議会
  - ・取水制限及び不特定用水補給量減量の解除決定
- 5/8 取水制限及び不特定用水補給量減量解除



## 水源施設の効果

○嘉瀬川ダムより平成29年6月から平成30年5月までの12ヶ月間で総量約4500万m<sup>3</sup>の補給を実施。川上頭首工直下地点において流水の正常な機能を確保するために必要な流量の内、**最大で約100%をダムから補給**。

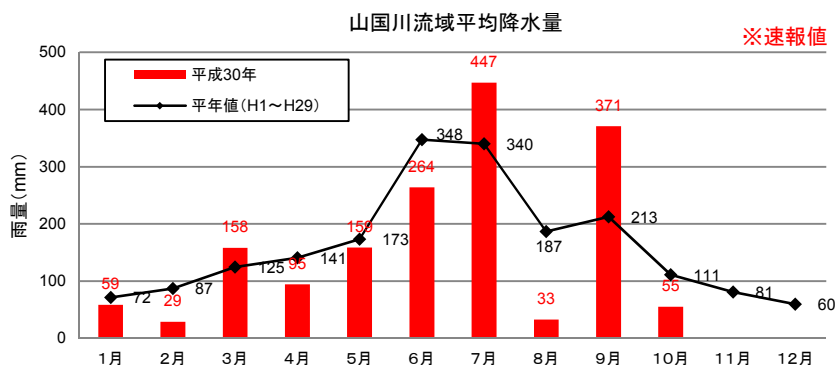


# 平成30年 山国川 渇水

## 河川の概要および降水量

- 山国川流域は大分県の中津市をはじめとする3市3町からなり、流域内人口は約3万2千人。
- 山国川流域における降水量は、7月は447mm(平年比131%)あったが、「平成30年7月豪雨」以降は少雨傾向が続き、台風12号においてもまとまった降雨がなく、**8月の降水量が33mmと平年の18%**。

### 位置図

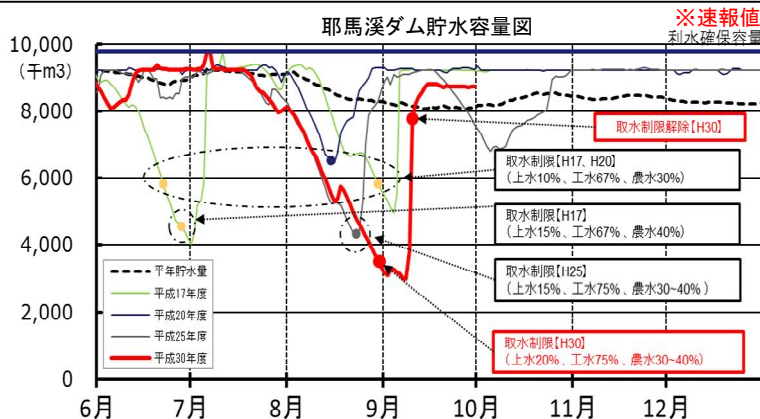


## 渇水対策の経過

○7月中旬から9月上旬の降水量が少なかったことにより、8月30日から12日間取水制限を実施。

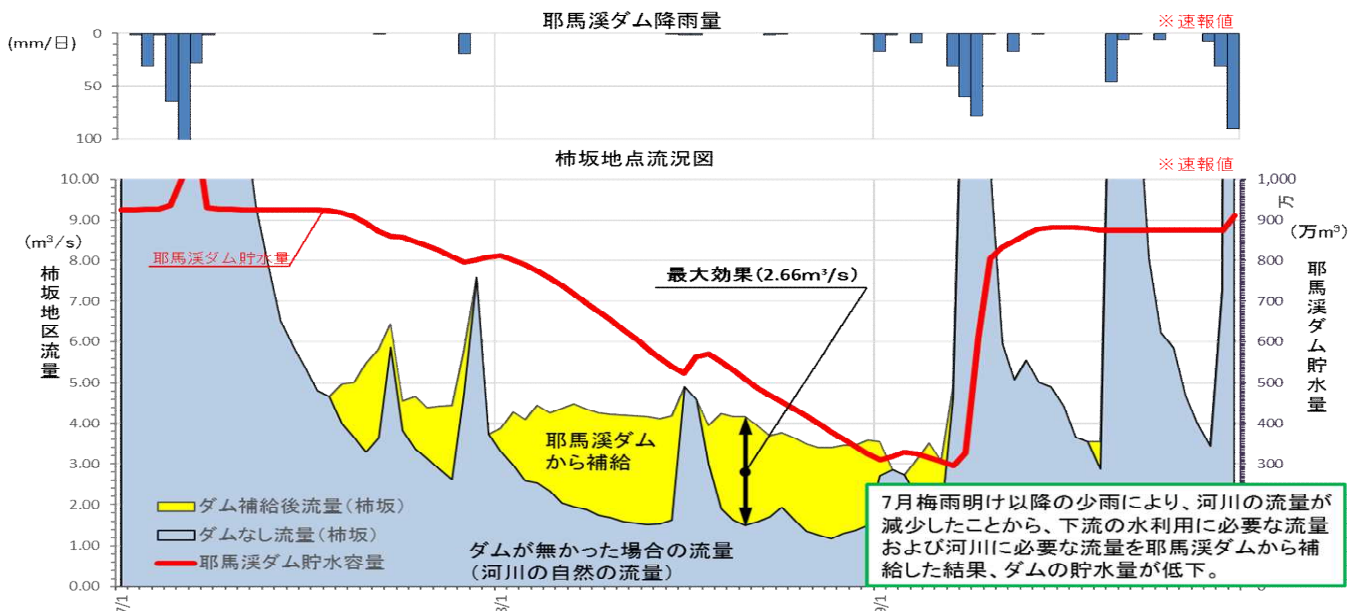
### 【山国川流域の渇水概要】

- 8/ 9 水利用連絡協議会(代表幹事会)
- 8/30 水利用連絡協議会(第1回委員会)  
(取水制限の実施決定)
- 8/30 山国川河川事務所渇水対策支部設置
- 8/30 **取水制限開始**  
(上水20%、工水75%、農水30~40%)
- 9/ 6 水利用連絡協議会(第2回委員会)
- 9/10 取水制限解除
- 9/10 山国川河川事務所渇水対策支部解散



## 水源施設の効果

○耶馬溪ダムより7月下旬から9月上旬までの約2ヶ月間で総量約700万 $m^3$ の補給を実施。柿坂地点において水道用水・工業用水・農業用水のために必要な流量の内、**最大で約60%をダムから補給**。

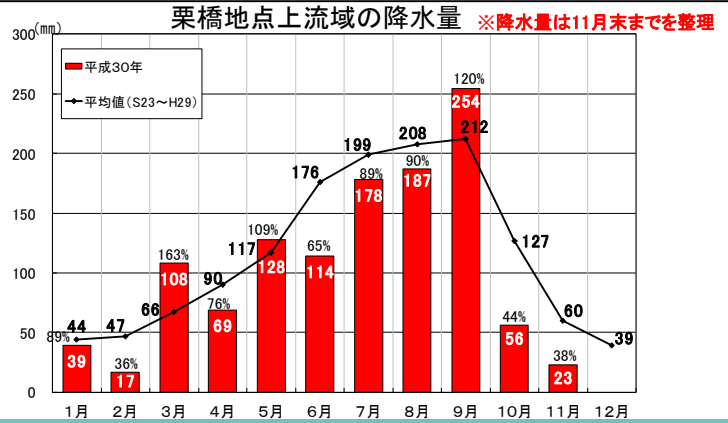




# (参考)平成30年 利根川の状況

## 河川の概要および降水量

- 利根川上流域の降水量は、1月、2月、4月、6月、7月、8月、10月、11月の月降水量が平均値を下回る。
- 関東地方では統計開始以来最も早く梅雨明けし、**利根川上流域では6月の総降水量が少なく、平年の約65%**（総降水量114mm）。



## 貯水状況等の経過

- 5月中旬からの少雨と農業用水の需要増等に対応し、ダム群から必要量の補給を行ったため、貯水率が7月下旬に約62%まで低下したものの（平年の約7割まで低下）、その後の台風等の降雨により、貯水量は回復し取水制限を回避。
- 利根川上流8ダムからの補給、及び利根川から江戸川に導水する北千葉導水路等の水路ネットワークを活用し、各取水地点において必要となる河川流量を確保。

### 【利根川上流ダム群】

### 【鬼怒川上流ダム群】

